

# 顎堤吸収症例への対応

## 鈴木哲也 東京医科歯科大学教授 が講演

臨床・学術部

4月度生涯研修講座

臨床・学術部は「顎堤吸収の著しい下顎無歯顎症例への対応」良い義歯とだめな義歯を見分ける七つのルール」と題して4月21日、M&Dホールで生涯研修講座を開いた。鈴木哲也氏(東京医科歯科大学歯学部教授)が講演し、139人が参加した。

鈴木氏は、上顎とは異なり、下顎の顎堤の吸収は「顎堤の不良な症例ほど吸収が進行しやすい」と語る。顎堤の吸収は、舌の不良な症例ほど吸収が進行しやすいと指摘した。義歯のイメージを確立することが大事で、上顎の印象はユーティリティイブックスを上手に使い、下顎ではレトラモラーパッドと頬棚を考慮して、隆起や鋭利な骨があればそこを避けるか、くり抜いて義歯を作製する。顎舌骨筋線は唾をのみこませて印象し、顎堤吸収の影響を受けない部位



「顎堤の不良な症例ほど吸収が進行しやすい」と語る鈴木哲也氏(4月21日、M&Dホール)

## 医療被曝のリスク

論考

市民と科学者の内部被曝問題  
研究会会員・歯科医師 鈴木成和

必要最小限に

現在の歯科診療に於いて、X線撮影は欠く事が出ない様な存在となっている。最近ではインプラント治療の普及と共に歯科CTを導入する歯科医院の数も増している。

ば低い線量と言う事は出来るであろう。しかし、歯科の場合には、その撮影部位の特殊性から、頭部や頸部に対する被曝影響が考慮される場合が殆どではないかと思う。しかし、その説明がなされていない

2012年4月10日、米エール公衆衛生大学院のCiansららは、年1回の頻度で撮影している場合も、腫膜腫りスクの上昇が見られ、10歳未満でパノラマレントゲン撮影していた場合は4.9倍に上昇しているという結果が得られたと報告されている。聞き取り調査で確認された事から、その偏りの可能性も否定できないとも合

現在の歯科X線撮影は改良されている。この結果は重く受け止めるべきと思う。現在の歯科X線は改良されている。この結果は重く受け止めるべきと思う。

現在の歯科X線は改良されている。この結果は重く受け止めるべきと思う。

現在の歯科X線は改良されている。この結果は重く受け止めるべきと思う。

現在の歯科X線は改良されている。この結果は重く受け止めるべきと思う。

## 歯科X線で髄膜腫増加

以上の歯科X線撮影と髄膜腫りスク増加との間に有意な関連が見られると「Cancer」に発表された(06~11年に診断された髄膜腫を対象に調査)。この調査で、過去1年1回以上の頻度で一

以上の歯科X線撮影と髄膜腫りスク増加との間に有意な関連が見られると「Cancer」に発表された(06~11年に診断された髄膜腫を対象に調査)。この調査で、過去1年1回以上の頻度で一

以上の歯科X線撮影と髄膜腫りスク増加との間に有意な関連が見られると「Cancer」に発表された(06~11年に診断された髄膜腫を対象に調査)。この調査で、過去1年1回以上の頻度で一

以上の歯科X線撮影と髄膜腫りスク増加との間に有意な関連が見られると「Cancer」に発表された(06~11年に診断された髄膜腫を対象に調査)。この調査で、過去1年1回以上の頻度で一

以上の歯科X線撮影と髄膜腫りスク増加との間に有意な関連が見られると「Cancer」に発表された(06~11年に診断された髄膜腫を対象に調査)。この調査で、過去1年1回以上の頻度で一

以上の歯科X線撮影と髄膜腫りスク増加との間に有意な関連が見られると「Cancer」に発表された(06~11年に診断された髄膜腫を対象に調査)。この調査で、過去1年1回以上の頻度で一

## 新人スタッフ講座開く

### 実習交え接遇マナーなど学ぶ

臨床・学術部



衛生士編でブラッシングを相互実習する参加者(5月12日、保険医会館)

新人スタッフ総合講座を5月12日、M&Dホールで開いた。121人(助手編91人、衛生士編30人)が参加し、終日受講した参加者に、修了証を発行した。

午前は、大手前短期大学・水原道子教授が「心を伝える接遇」をテーマに講義した。

午後は、助手編と衛生士編に分かれ、助手編では、富本昌之氏(港区開業

の第二大臼歯、第一大臼歯、小臼歯として作業側の大臼歯の順に咬合する。人工歯はフラットでもアンチモンソーンでも悪く、総義歯は口腔内で大きく動いていると話し、中心咬合位でのポイント

は大きく調整し、作業側舌側を、平衡側をチェックし最後に前歯のチェックをする。義歯は予備印象が上手

にとれるかが重要とし、既製トレーの適合がいかに保たれるか、また患者の緊張をとき、舌頬を誘導して、ポジションは上顎は寝かせて、下顎は起して印象を取ること、レトラモラーパッドを上手に取ることを紹介した。

で実践し、研修した。歯科医院での接遇の基本や電話対応、クレーム対応を解説した。患者をファンにするためには、第一に好かれること、次に信頼されることとした。信頼されるには、知識と技術が必要であり、記憶力が大事である。患者が以前に来院した記憶があれば声をかける。これが信頼につながる。その上でやさしさを伝えることが重要とした。

やさしさを伝えるには待合の環境作りが大切だとし、患者の視点に立ち、待合の椅子、掲示物、スリッパなどを見直してほしいと例を挙げた。業務でよく使う謙譲語や子どもへの対応にもふれ、「プロを自指してがんばってくださーい」と締めくくった。

2013消夏号

## 投稿・写真を募集

本紙消夏号(8月15日付)への会員投稿を募集しています。掲載者には薄謝進呈。ぜひご応募ください。

【投稿】テーマは①趣味②日常の臨床③家族や生活④夏の思い出⑤エッセイ、川柳、俳句⑥旅行記⑦など。600字以内、顔写真を同封

【写真】夏の風景や人物写真など  
【応募先】郵便・ファクス(06-6568-0564)・メール(akira\_kn@doc-net.or.jp)で新聞部まで

今年もやります!

# 第36回 保険医まつり

大阪府保険医協同組合、秋の一大イベント  
「保険医まつり」を今年も開催します。  
2013年10月5日(土)、6日(日)の2日間は  
マイドームおおさかへお越しください!

※写真は昨年の様子です。

2013年  
**10月5日(土) 6日(日)**  
10:00開場~18:30終了 10:00開場~17:00終了

at **マイドームおおさか 2・3F**

現在、医院のスタッフみんなで参加できるようなイベントを鋭意企画中!  
詳細はチラシなどで随時発表していきます。ご期待ください!

お問い合わせ ▶ 大阪府保険医協同組合  
TEL 06-6568-2741 FAX 0120-02-9381 URL <http://e-mdc.jp/>